

技能五輪全国大会「とび」職種 Q & A

NO.	質問内容	回答内容
Q1	<p>とび競技における、4. 支給材料のうち、自在クランプが36個と記載されておりますが確認しましたところ、38個使用することになりませんか。</p> <p>『内訳』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図3：火打ち2個・図5：火打ち4個・図8：斜材4個・登りばり6個 ・図12：斜材4個・登りばり6個・図13：方づえ4個・図15斜材（トラス）8個 計38個 <p>なお、3課題（2）使用ヨの記載「登りはりは、柱、むな木、小屋けた、むな木兼母屋等に取り付けるものとし、両端の登りばりは柱に取り付けること」に準じ、柱に自在クランプで組み立てをしております。</p>	<p>競技課題の4. 支給材料に記載の通りです。</p>
Q2	<p>敷地境界線（5m×8m）の取り扱いについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業する際、境界線から足が出た場合、どのように判断されるますか。（多少は許容される。減点など） 2. 作業する際、境界線から資材（単管、敷板）が出た場合、どのように判断されますか。（多少は許容される。減点など） 3. 敷地境界線と敷地境界線の間に予備的なスペースはありますか。（隣地境界線の隣は他の選手の敷地となるか） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 競技中は境界線から出ないようにして下さい。 2. 資材の取り扱い（特に長尺パイプ、足場板等）は境界線から出ないように工夫して下さい。 3. 予備的なスペースはありません。10月17日（金曜日）の競技内容の説明の時に説明します。
Q3	<p>競技課題図の通り組み立ると直交クランプが1つ余るんですが支給材料の直交クランプの数はありますか。</p>	<p>支給材料の通りです。よく考えて組み立てて下さい。</p>